



平成 28 年 10 月 17 日

世界銀行グループが組成したプライベート・エクイティ・ファンドへの投資について

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、平成 28 年 10 月 13 日（木）、世界銀行グループが組成したプライベート・エクイティ・ファンド※「IFC Emerging Asia Fund, LP」に対し、10 百万米ドルの投資を決定いたしましたので、お知らせします。

本ファンドは、世界銀行グループの国際金融公社（International Finance Corporation、以下「I F C」）が投資するアジア新興国の企業やプロジェクトに、外部投資家からの資金を取り入れること目的として、I F Cの子会社である IFC Asset Management Company, LLC（以下「AMC」）が組成したものです。

本件は、昨年 9 月に開始した株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長 柳 正憲）及びDBJ アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長 堀 浩）との海外プライベート・エクイティ・ファンドを対象とした共同投資プログラムにもとづく投資案件です。なお、AMCが組成するファンドに対する投資は、本邦地方銀行初となります。

当行は、本ファンドへの投資をつうじて世界銀行グループが取組む社会的意義の大きい投資案件に参画することで、アジア新興国の経済発展に貢献すると共に、投資収益の確保を目指してまいります。投資先概要は下記のとおりです。

※未公開企業の株式に投資を行い、その企業の成長や再生の支援をつうじて企業価値を高めた後に I P O（株式公開）や他社への売却等により投資回収を図り、利益を実現するもの。

記

【投資先概要】

ファンド名称	IFC Emerging Asia Fund, LP
運用会社	IFC Asset Management Company, LLC（I F C 100%出資子会社）
投資対象	アジア新興国市場における IFC 加盟国の企業やプロジェクト（インフラ等）
投資額	10 百万米ドル
出資者	I F C、日本政策投資銀行、他機関投資家等

当行は、今後も運用手法の多様化を進めるとともに、投資活動をつうじた投資先の発展に貢献してまいります。



佐久間頭取と AMC Gavin E. R. Wilson CEO との署名式の様子

以上